道徳(小学校1年) だれとでもなかよく

- **(1) 主題名** だれとでもなかよく
- (2) 教材名 「ジャングルジム」 (光村図書 どうとく1 きみが いちばん ひかるとき) C [公正、公平、社会正義]

(3) 本時の指導

①ねらい

仲間外れをせず仲良く遊ぶ3匹の姿を通して、好き嫌いにとらわれず、誰とでも仲良く接しよう とする心情を育てる。

②展 開		
学習活動と発問 (◎:主発問)	ねらいにせまる手立て	予想される子供の反応(・)
①自分と友達との関わり方を振り返る。○みんなと仲良くできていますか。	○休み時間や学級での活動の様子の写真を提示することで、普段友達とどのような場面で仲良くしているか想起させる。○「休み時間は、いつも決まった友達とあそんでいないか。」と問うことで、誰とでも仲良く遊ぶことについて考えるきっかけとする。	○みんなと仲良くできているかを考えている。・いつも仲良くしている。・決まった友達とあそぶことが多いな。
②教材「ジャングルジム」を読んで話し合う。 ○場面絵3で「そんなのおかしいよ。」と言われたくまは、どんなことを考えたでしょう。	 ○イラストをスライドショーで提示することで、話の内容を把握しやすいようにする。 ○さるの発言の「おかしい」とは、くまの何がおかしかったのかを問うことで、くまがねこに意地悪していることを確認する。 ○さるを独り占めしたいがためにねこを仲間に入れようとしないくまの気持ちを理解するために、くまはさるとねことはどのくらい遊びたかったのかをハートの心情メーターで表現させる。 	○「そんなのおかしいよ」と言われたくまの気持ちを考えている。・さるさんと二人だけで遊びたかったのに。・ねこさんに悪いことしてしまったな。・ねこさんも一緒に遊びたかったのかな。
◎場面絵6のようにみんなで楽しく遊ぶために、場面絵5ではどんな話をしたのでしょう。	○場面絵6を先に提示し、なぜ皆が楽しく 遊ぶことができるようになったのかを 考えられるようにする。 ○場面絵5を提示し、皆が仲良く遊べるよ うになるために、くまはどのようなこと を話したかを考え、役割演技を行う。 ○演技について演じた人や観衆にインタ	○3匹がどのような話をしたか考えている。(くま)・昨日はごめんね。→仲直りしたいな。・ねこさんも一緒に遊ぼう。→一緒に遊んだほうがきっ



- ③誰とでも仲良く接す ることのよさについ て考える。
- ○誰とでも仲良くすると、どのようなよいことがあるのでしょうか。
- ④本時の振り返りをする。
- ○今日の学習から学ん だことを振り返りま しょう。
- <振り返りの3項目>
- ①しっかり考えた
- ②新しく気付いたことが あった
- ③これから大切にしたい ことがわかった

- ビューをすることで、言動や台詞に表れた気持ちを考えられるようにする。
- ○心情メーターを使って、くまの2匹に対する気持ちを表すことで、同じ気持ちで接すると皆が仲良く遊べることに気付けるようにする。
- ○仲間外れをすると、仲間外れにされた人だけでなく、周りの人も悲しい気持ちになり、自分自身もよい気持ちにならないことを、教材を通して確認する。
- ○皆が仲間外れを作らないように過ごす ことで、場面絵 6 のように皆が笑顔で安 心して過ごせることに気付かせる。
- ○本時の学びについて、3項目を振り返 ○本時の活動を通して考えり、ワークシートの顔絵に色を塗る。 たことや、これからの生
- ○誰とでも仲良くするために、これからど のようなことを取り組んでいきたいか を中心に考えるように声をかける。
- ○本時の最後に、指導構想を確認し、本時で学んだ大切な心について学級で共有できるようにする。

と楽しい。

(ねこ)

- もう意地悪なことは言わないでね。
- →謝ってもらったから、仲 良く遊べてよかった。 (さる)
- ○誰とでも仲良くすること のよさについて考えている。
- ・皆が笑顔で過ごせる。
- ・皆が楽しく過ごせる。
- たくさんの友達を作ることができて、自分も嬉しくなる。
- ○本時の活動を通して考え たことや、これからの生 活への意欲などを積極的 に記入している。
- 仲間外れをせずに、「入れて」と言われたら「いいよ」と言ってあげたい。
- ・皆が笑顔で過ごすために、 仲間外れは絶対にしない。

2 成果と課題

(1) 成果

- ・心情メーターや役割演技があることで、子供たちが主体的に考え、それを共有することができた。
- ・役割演技を2回行ったところがよかった。2回目は、新たな視点をもたせたり、演技を終える場面を変えたりして深めることができた。
- ・指導案に「問うこと」、「問い返す」などが具体的に入っていて、子供の心情を深めることができ

(2)課題

- ・この時期の1年生には、「公正、公平、社会正義」や役割演技による話し合いは難しかった。
- ・役割演技をして、言葉や行動から気付いた気持ちについて、子供たちに考えさせられるとよかった。